

第 123 回監視・評価検討会 本日の確認事項

原子力規制庁

議題 1. 3号機PCV内部気中部調査（マイクロドローン調査）について

- ・ 調査したペデスタル側壁について、健全であるとする部分のファクトも示すと共に、欠けの状況をしっかり確認すること。また今後の確認においては、PCV内部の状況と線量をよくすり合わせて確認して欲しい。（原子力規制庁）
- ・ 今後行う内部調査においては、線量が高いと思われる機器等を中心に最大でどのくらいの線量であるか等確認してはどうか。（井口委員）

議題 2. 中期的リスクの低減目標マップの改定に係る検討について

- ・ リスクの指標で示している「保管状況＋性状」×「インベントリ量」の式に関して、その妥当性はよく確認を行うこと。（長崎委員）
- ・ 各指標に関して、最終的には、地元の方など一般の方にも理解できるようなものとして欲しい。（蜂須賀委員）
- ・ 東京電力には、事業者としても有用なリスクマップとなるように、積極的なアイデア出しをぜひして欲しい。（原子力規制庁）
- ・ 達成時期に主に関わってくるのが難易度と考えている。今回、示されているのはどれも比較的難易度高いものと考えられるが、様々な難易度を考慮し検討して欲しい。（宮原オブザーバ）
- ・ ここで示すリスクに関して、何を意味するものなのか、今後、定義を示すこと。（井口委員）

議題 3. プール燃料取り出しの進捗について

- ・ オペプロからの小割テントまでのガレキ撤去に関して、3, 4号機のガレキの撤去等の知見等を踏まえ、このようになっている等、今後の検討会において説明を行うこと。(原子力規制庁)
- ・ オペプロからの大型ガレキの撤去に関して、それを下す際に、散水することやダストの管理をする等の対策の説明があったが、小分けして下す等の方法も含め、どのように撤去を行うのか、その妥当性を今後の検討会において、説明すること。(蜂須賀委員・勝山委員)

議題 4. 放射線管理の実施状況について

- ・ 局所的に汚染する恐れのある個所(ホットスポット)について、周知してもいいのではないかと。また、放射線管理マニュアル等については、理解しやすいものとすべき。(原子力規制庁)
- ・ 再発防止のためには、事業者自らが積極的に取り組む必要があり、しっかり対応して欲しい。是正処置の状況については検査で確認していく。(原子力規制庁)
- ・ 本事象は、内部汚染があった可能もあり、東京電力は、作業員等に対して、3H時の対応等、積極的な周知を徹底して欲しい。(蜂須賀委員・勝山委員)
- ・ 本件は地元からの意見を踏まえ、保安検査でしっかりと対応して欲しい。(原子力規制庁福島総括調整官)
- ・ 問題があったときは一度立ち止まって確認することが大切。今後、注意して進めて欲しい。(宮原オズバーバ)

議題 5. その他

- ・ グレーデッドアプローチであり、進めて欲しい。類型の判断基準について不明確なので、次回議論するときは示してほしい。リスクがあがった場合、届出から認可制に戻す等も考慮して欲しい。（井口委員）。

・ 本資料は、検討会において認識共有した内容をもとに作成し、ホームページに掲載しています。
なお、会議の進行と同時並行で作成しているため、正確な表現ではない部分があります。